

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、中心市街地特例通訳案内士育成等事業その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 経済活力の向上の必要性

(1) 現状分析

本市中心市街地の年間小売商品販売額は、平成28年から令和3年にかけて減少傾向が続いており、特に、飲食サービス業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2～3年には大きく落ち込んだ。

事業所数は、増減を繰り返しており、業種構成では「医療、福祉」の割合が低い。従業者数は増加傾向にあり、特に「宿泊、飲食」、「卸・小売」等の増加が目立つ。

空き店舗率（大分市竹町通商店街振興組合、大分市中央町商店街組合、大分市府内五番街商店街振興組合、大分市ポルトソール商店街振興組合、サンサン通り商店街振興組合の各商店街振興組合の計）は平成28年度の11.1%から、令和3年度には9.0%と改善傾向にあるとともに、平成28年に府内町において「オープンオフィス大分」が開設されるなど、コワーキングスペースやレンタルオフィスの立地も進んでいる。

市民アンケート調査結果では、中心市街地の将来像について、「魅力的な店舗が多いまち」、「楽しい時間が過ごせるまち」へのニーズが高く、時間消費のできるまちへの意向が強いことがうかがえる。また、イベントにおいては、「地域の食材を活かした料理などが食べられるイベント」、「地元農産品などが販売されるイベント」等大分の豊かな農水産品を活かしたイベントへの意向が強くなっている。

(2) 経済活力の向上のための事業の必要性

本市の中心市街地は、飲食、物販だけでなく、行政サービス、医療福祉等、様々なサービス機能を有しており、それらを目的に多くの市民などが来街している。市民アンケート調査結果では、魅力的な店舗・事業所が多いまちにするために重視すべき取組として、「商品の品揃え」のほかに、「休憩空間や回遊しやすい環境の充実」や「夜間の歩きやすさ」が重要視されている。

また、中心市街地にふさわしい基盤産業の形成に向けて、既存商店街の連携による活性化だけでなく、中心業務地にふさわしい産業集積、出会いや交流を通じたイノベーションの場など幅広い業種の起業・創業に向けた支援を進める必要がある。

さらに、アフターコロナ時代を見据え、回復が期待される国内外の観光客を含め、来街者を駅から商店街へ回遊・滞留させ、消費行動を高める仕組みが必要であるとともに、中心市街地固有の歴史、文化等の資源を活用した魅力ある情報の発信やイベント開催に取り組む必要がある。

【経済活力の向上に資する事業】

- ・ 中心部活性化商店街連携イベント事業
- ・ 中心部活性化商店街等連携販売促進事業
- ・ 中心部活性化商店街等連携イルミネーション事業
- ・ 共通磁気駐車券導入事業

・商店街オープンイノベーション推進事業 等

(3) フォローアップについて

位置づけられた事業については、事業の進捗管理、事業進捗等を踏まえた既存事業の見直し及び新規事業の必要性等について定期的実施し、改善策を検討するとともに、中心市街地活性化協議会と十分な協議を行いながら、事業の見直しや改善を図る。

計画期間の終了時点において、中心市街地活性化への最終的な効果を検証する。

◇庁内フォローアップ体制：大分市中心市街地活性化基本計画策定・推進委員会

◇庁外フォローアップ体制：大分市中心市街地活性化協議会

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

【事業名】 第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定

【事業実施時期】	平成 22 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	法第 37 条に基づく大規模小売店舗立地法の特例を活用し、手続きを簡略化する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化		
【目標指標】	空き店舗率		
【活性化に資する理由】	大規模小売店舗立地法の手続きを簡略化することで、中心市街地における迅速な店舗誘致が図られ、まちなか商業の活性化につながる。		
【支援措置名】	大規模小売店舗立地法の特例（第一種大規模小売店舗立地法特例地域）		
【支援措置実施期間】	令和 5 年度～	【支援主体】	経済産業省
【その他特記事項】	—		

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業名】 まちなか出店サポートセンター運営事業（まちなか出店サポート事業、テナントミックス、イベントミックス）

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	起業家や相談者に対し、空き店舗・空地・空きビル情報の提供、商店街・大型店の店舗業種情報・不足業種情報の提供、イベントのマネジメントや情報提供、再開発等の支援情報の提供などの出店サポート等を行う。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化		
【目標指標】	空き店舗率		
【活性化に資する理由】	㈱大分まちなか倶楽部との緊密な連携を図り、起業家や相談者に対して出店サポート等を行うことで、中心市街地における出店数の増加や事業の継続に寄与し、まちなか商業の活性化につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 中心部活性化商店街連携イベント事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	中心市街地の商店街が連携して行い、集客に効果のあるイベント事業に対してその費用の一部を補助する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	商店街が連携して行うイベントに対しその費用の一部を補助することで、中心市街地への集客を促進し、交流機会の拡大が期待できることから、来街者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 中心部活性化商店街等連携販売促進事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	中心市街地の商店街が連携して行い、集客に効果のある新聞やフリーペーパー等の宣伝媒体を活用した販売促進事業に対してその費用の一部を補助する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化		
【目標指標】	空き店舗率		
【活性化に資する理由】	販売促進事業に対してその費用の一部を補助することで、中心市街地の商店街への集客に寄与し、まちなか商業の活性化の活性化につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 中心部活性化商店街等連携イルミネーション事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	中心市街地の商店街が連携して行い、集客に効果のあるイルミネーション事業に対してその費用の一部を補助する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	集客に効果のあるイルミネーション事業に対しその費用の一部を補助することで、中心市街地における交流人口及び交流機会の拡大を促進し、来街者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 まちなか出店支援事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	中心市街地において空き店舗への出店や起業の事業意欲のある事業者や起業家に対して、事業の継続性が認められるものに対し、改装費・備品購入費および広告費等の一部を補助する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化		
【目標指標】	空き店舗率		
【活性化に資する理由】	改装費・備品購入費および広告費等の一部を補助することで、中心市街地における出店を促し、まちなか商業の活性化につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 イベント開催事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	中心市街地で行うイベントに対して、その費用の一部を補助する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地で行うイベントに対しその費用の一部を補助することで、中心市街地への集客を促し、交流機会の拡大が期待できることから、来街者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 広域連携イベント誘致事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	各地の地域資源等の紹介など、市外の事業者等が中心市街地で行うイベントに対して補助金を交付する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	市外の事業者等が中心市街地で行うイベントに対しその費用の一部を補助することで、中心市街地への集客を促し、交流機会の拡大が期待できることから、来街者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】大分七夕まつり

【事業実施時期】	昭和 57 年度～		
【実施主体】	大分市まつり振興会		
【事業内容】	毎年、中央通りを全面通行止めとし、お祭り広場として活用する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	48 万市民のお祭り広場として活用することで、魅力ある中心市街地の構築に寄与し、交流人口及び交流機会の拡大が期待できることから、来街者の増加と回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】おおいた食と暮らしの祭典

【事業実施時期】	昭和 42 年度～令和 5 年度		
【実施主体】	おおいた食と暮らしの祭典実行委員会		
【事業内容】	大分の「食」や「暮らし」の豊かさを紹介し、また中心市街地を楽しく回遊することができる多彩な催し物を開催する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地を楽しく回遊することができる多彩な催し物を開催することで、地元大分の優れた文化と高い技術力に触れることができ、交流人口及び交流機会の拡大が期待できることから、来街者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】大分市中央通り歩行者天国

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	大分市中央通り歩行者天国推進委員会		
【事業内容】	中央通りを歩行者天国とし、魅力あるイベント等を開催する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	本市の中心市街地におけるメインストリートである中央通りを歩行者天国とし、魅力あるイベント等を開催することにより、中心市街地の新たな魅力を創出し、滞留時間の延長を図ることで、来訪者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】アートを活かしたまちづくり事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	大分市アートを活かしたまちづくり推進会議		
【事業内容】	芸術作品の制作や芸術祭の開催を行う。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	芸術作品を公共空間に複数設置するとともに芸術祭を開催することで、中心市街地の新たな魅力が発信でき、来街者の増加と回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 おおいたワールドフェスタ

【事業実施時期】	平成 27 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	大分市と国際関係団体が協力し、各参加団体による工夫を凝らしたブースや多彩なステージパフォーマンスを紹介する「おおいたワールドフェスタ」を開催する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	本市と JICA 九州は、10 月の 1 か月間を「おおいた国際協力啓発月間」と定めていることから、国際交流・国際協力を身近に感じてもらうためのイベントを開催することによって、交流人口及び交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 共生社会ホストタウン事業

【事業実施時期】	令和元年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	共生社会ホストタウンの取組を市民に知ってもらうことを目的とした「スイスフェア」を開催する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	本市は共生社会ホストタウンとして国に登録されており、交流相手国がスイス連邦であることから、取組を市民に知ってもらうことを目的として、中心市街地において「スイスフェア」を毎年開催することにより、交流人口及び交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 おおいた夢色音楽祭

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	おおいた夢色音楽祭実行委員会		
【事業内容】	鑑賞・参加・育成型のイベントである「おおいた夢色音楽祭」を実施し、中心市街地の各所に設置したストリートステージでポップスやロック、クラシック等の様々なジャンルのミュージシャンが演奏を繰り広げる。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	「音楽のまち大分」の実現に向け、鑑賞・参加・育成型のイベント「おおいた夢色音楽祭」を開催することで、音楽文化の振興を図るとともに、中心市街地の持つ文化的魅力を全国に情報発信し、交流人口及び交流機会の拡大に寄与することから、来訪者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 大分市ふるさとコンサート

【事業実施時期】	平成 19 年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	国内外での活躍が期待される、大分市にゆかりのある若手演奏家を中心としたクラシックコンサートを開催することで、その才能の育成と市民への認知浸透を図るとともに、市民に質の高い文化・芸術に触れる機会を提供する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	大分市にゆかりのある国内外で活躍し将来を嘱望されている若手演奏家を中心とした「大分市ふるさとコンサート」を実施することで、音楽文化の振興を図るとともに、市内外へと情報発信を行うことにより、交流人口及び交流機会の拡大に寄与することから、来訪者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 おおいたマルシェ開催事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	おおいたマルシェ実行委員会		
【事業内容】	本市で育まれた「おおいたの食」と農林水産物の「地産地消」をテーマとしたマルシェを開催する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	本市で育まれた「おおいたの食」と農林水産物の「地産地消」をテーマとして開催することで、市民をはじめとする来場者にそれら製品の情報発信と地産地消の啓発につながるとともに、交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施期間】	令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

【事業名】末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業【再掲】

【事業実施時期】	令和元年度～令和9年度		
【実施主体】	末広町一丁目地区市街地再開発組合		
【事業内容】	商業・業務施設、共同住宅、駐車場等を整備する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上、まちなか居住の推進		
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の歩行者通行量、中心市街地の居住人口		
【活性化に資する理由】	末広町一丁目地区内の土地の合理的かつ健全な高度利用を図ることで、都市機能が更新され、来街者の回遊性の向上につながるとともに、共同住宅等が整備されることでまちなか居住を促進し、居住人口の増加につながる。		
【支援措置名】	スマートウェルネス住宅等推進事業		
【支援措置実施期間】	令和4年度～令和9年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】	—		

【事業名】大友氏遺跡情報発信事業

【事業実施時期】	平成24年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	郷土の英雄大友宗麟公や大友氏遺跡の魅力に関するイベントやガイド活動を通じて市内外への情報発信を行う。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	イベントやガイド活動を通じて広く市内外へ情報発信を行うことにより、大友氏遺跡の価値や大友宗麟の魅力をもPRでき、来街者の増加と回遊性の向上につながる。		
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業（大分市中心市街地地区）		
【支援措置実施期間】	令和4年度～令和7年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】	—		

【事業名】 若手起業家育成事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	主に学生等の若年者をターゲットとした事業で、若年者の創業マインド醸成を目的に、起業セミナーやビジネスプランコンテストの開催に加え、若年者が気軽に立ち寄ることのできる交流拠点の整備を検討する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化		
【目標指標】	空き店舗率		
【活性化に資する理由】	交流拠点の整備により、創業意欲を持つ学生が、同世代の学生同士や、先輩起業家と自由に意見交換できる環境を提供し、若年者が集い、また起業を志す若年者を増やすことで、まちなか商業の活性化につながる。		
【支援措置名】	デジタル田園都市国家構想交付金		
【支援措置実施期間】	令和5年度～令和7年度	【支援主体】	内閣府
【その他特記事項】	—		

(4) 国の支援がないその他の事業

【事業名】 大分市中心市街地プロモーション事業

【事業実施時期】	平成28年度～		
【実施主体】	大分市		
【事業内容】	PR映像や各種メディア等を通じて、中心市街地の魅力を広域に発信する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上		
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地のPR映像や各種メディア等により、その魅力を市内外問わず、より広域に発信することで、中心市街地におけるイベント等の実施を促進するとともに、イベント等の実施者の増加に寄与し、来街者の増加と回遊性の向上につながる。		

【事業名】 商店街基盤整備事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	商店街団体が取り組むディスプレイ設置や街灯の LED 化等来街者の利便性向上を図るための施設整備を行う場合に対して、その費用の一部を補助する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化
【目標指標】	空き店舗率
【活性化に資する理由】	商店街団体が、来街者の利便性向上を図るための整備を行う場合に対しその費用の一部を補助することで、商店街の魅力向上を促し、まちなか商業の活性化につながる。

【事業名】 自治体情報発信拠点づくり促進事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	県内の自治体の特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等の PR ができる情報発信拠点の設置・運営を行う。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	希望する県内の自治体が中心市街地において特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等の PR が出来る情報発信拠点の設置・運営を行うことで、交流人口及び交流機会の拡大に寄与し、来街者の回遊性の向上につながる。

【事業名】交通系ＩＣカード普及と商業利用環境の整備による消費者利便性向上事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～
【実施主体】	大分市、大分ＩＣカード開発(株)、(株)大分まちなか倶楽部、商店街 等
【事業内容】	交通系ＩＣカード『めじろん nimoca』や全国の交通系ＩＣカードで決済を行える決済端末機の整備及び「めじろん nimoca」を活用した広域の共通ポイントサービスの展開を行う。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	交通系ＩＣカードで決済を行える決済端末機の整備や『めじろん nimoca』を活用した広域の共通ポイントサービスの展開に商店街区を中心として中心市街地全体で取り組むことにより、来訪者への販売促進及び利便性向上が図られ、まちなか商業の活性化及び来訪者の回遊性の向上につながる。

【事業名】小規模事業者競争力強化支援事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	市内の小規模事業者の販路開拓や業務効率化の取組等に要する経費を補助する。
実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化
【目標指標】	空き店舗率
【活性化に資する理由】	販路開拓や業務効率化の取組等に要する経費を補助することで、個店の魅力向上や競争力強化を促し、まちなか商業の活性化につながる。

【事業名】大分市中心部一括免税カウンター運営事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～
【実施主体】	大分市中心部商店街振興組合連合会
【事業内容】	大分市中心部の商店街振興組合と㈱トキハ本店が協力して「大分市中心部一括免税カウンター」を設置・運営する。
実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	「大分市中心部一括免税カウンター」を設置・運営することで、本市を訪れる外国人観光客への消費拡大の促進及び交流人口の拡大に寄与し、まちなか商業の活性化及び来訪者の回遊性の向上につながる。

【事業名】大分市免税店PR支援事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	外国人観光客がスマートフォンなどで免税店を気軽に検索できる免税店PRサイトを運営する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	多言語に対応した免税店PRサイトの運営により、本市を訪れる外国人観光客の利便性が向上することで、消費拡大の促進及び交流人口の拡大に寄与し、まちなか商業の活性化及び来訪者の回遊性の向上につながる。

【事業名】 共通磁気駐車券導入事業

【事業実施時期】	令和5年度～
【実施主体】	大分市中心部商店街振興組合連合会
【事業内容】	中心部商店街で買物をした際、購入額に応じて駐車券を発行し、駐車料金を無料または割引する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	現状の交換スキームの課題解決のため、「磁気券」の導入を図る新規事業であり、駐車料金を無料または割引することで利用者の利便性の向上に寄与し、まちなか商業の活性化及び来訪者の増加と回遊性の向上につながる。

【事業名】 商店街オープンイノベーション推進事業

【事業実施時期】	令和2年度～
【実施主体】	大分市府内五番街商店街振興組合
【事業内容】	地域活動交流及び情報発信拠点の構築や、ビルのオーナーとの連携等による空き店舗対策、リノベーション事業等によるまちなか居住の推進といった取組により、商店街の商業機能強化を図るためのモデル事業である。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上、多様な都市ストックを活かした交流機会の拡大
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の歩行者通行量、中心市街地の居住人口
【活性化に資する理由】	空き店舗対策により新規出店等が図られ、まちなか商業の活性化に資するとともに、情報発信拠点の設置により、交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。さらにはリノベーション事業の実施等により、まちなか居住の魅力を高め、居住人口の増加につながる。

【事業名】 まちなかリノベーション居住等物件魅力アップ事業【再掲】

【事業実施時期】	平成 30 年度～
【実施主体】	(株)大分まちなか倶楽部
【事業内容】	まちなかの店舗等の魅力アップと老朽化した物件のリノベーションを行う。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、まちなか居住の推進
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の居住人口
【活性化に資する理由】	まちなかの店舗等物件の魅力アップと老朽化した物件のリノベーションを行うことで、新規出店数の増加及びまちなか居住の魅力を高め、まちなか商業の活性化及び居住人口の増加につながる。

【事業名】 おおいた産品創出・魅力発信事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	大分市産農林水産物等の地域資源を活用した商品開発や販路拡大等の取組の支援、大分市ブランド認証加工品のPR、大都市圏での6次化商品や市内中小企業者が製造する加工食品の販売を行う。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	市民をはじめとする来場者に産品の情報発信及び販売を行うことで、本市の魅力を高め、交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。

【事業名】 大分市創業者応援事業補助金

【事業実施時期】	平成 27 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	創業時に必要な初期費用の一部を補助する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化
【目標指標】	空き店舗率
【活性化に資する理由】	創業時における初期費用の経費の一部を補助することで、創業者の負担軽減及び創業後の成長を促すとともに、空き店舗を低減し、まちなか商業の活性化につながる。

【事業名】大分市産農林水産物「中食・外食」等活用促進支援事業

【事業実施時期】	令和4年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	飲食店や総菜店等が大分市産農林水産物を活用した飲食メニューや総菜、弁当、菓子、パン等にかかる催事を開催する場合、その経費の一部を補助する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	空き店舗率、中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	催事の経費の一部を補助することで、中食・外食のニーズに対応したサービス機会の提供を促進し、まちなか商業の活性化及び来訪者の増加と回遊性の向上につながる。

【事業名】OITAサイクルフェス事業

【事業実施時期】	平成26年度～
【実施主体】	OITAサイクルフェス実行委員会
【事業内容】	自転車ロードレースを開催する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	サイクルスポーツの振興に資する自転車ロードレースを開催することにより、交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。

【事業名】赤ちゃんの駅事業

【事業実施時期】	平成28年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	授乳又はおむつ替えをする場所等を提供できる施設を「赤ちゃんの駅」として登録する。登録した施設には、共通のシンボルマークを掲示する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	外出中に授乳やおむつ替えなどで気軽に利用することができる施設を登録し、周知することにより、乳幼児を連れた保護者が安心して外出できる環境の整備が図られ、来訪者の増加や回遊性の向上につながる。

【事業名】「大分国際車いすマラソン」の開催

【事業実施時期】	昭和 56 年度～
【実施主体】	大分県、大分市 他
【事業内容】	国内外の身体に障がいのある方を対象とした「大分国際車いすマラソン」を開催する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	車いすマラソンを通じて、国内外の身体に障がいのある方が社会に参加する意欲を喚起するとともに、国際的に大規模なイベントである車いすマラソンを開催することで多くの市民に向け、障がいに対する理解促進を深めるとともに、交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。

【事業名】大分市MICE誘致促進事業

【事業実施時期】	平成 27 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	市内で開催されるMICEの誘致・開催支援を行う。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	市内において開催される大会、会議、学会、展示会等の誘致及び開催支援を行うことで、交流人口の増加に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。

【事業名】大分市無料公衆無線LANサービス

【事業実施時期】	平成 26 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	無料の公衆無線LANサービスの提供を行う。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上、まちなか居住の推進
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量、中心市街地の居住人口
【活性化に資する理由】	来街者に対して無料の公衆無線LANサービスを提供し、宿泊・観光・食などの情報を手軽にインターネットで入手できる環境を整備することで、快適な滞在の支援に寄与するとともに、利用者がSNS等で本市の魅力を発信することでまちなか居住の魅力を高める契機となり、来訪者の回遊性の向上及び居住人口の増加につながる。

【事業名】 まちなか防犯パトロール事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～
【実施主体】	(株)大分まちなか倶楽部、商店街、大分まちなか交番連絡協議会、大分中央警察署
【事業内容】	商店街が中心となり、大分中央署員とともにまちなかを巡回し、防犯の呼びかけを実施する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上、まちなか居住の推進
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量、中心市街地の居住人口
【活性化に資する理由】	防犯の呼びかけを実施することで、安全で安心なまちづくり及び地域コミュニティ活動の活性化に寄与し、来訪者の回遊性の向上及び居住人口の増加につながる。

【事業名】 大分市木育フェス

【事業実施時期】	令和 3 年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	木材への親しみや木の文化への理解を深めてもらうイベントを開催する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	親子をはじめ多くの市民を対象に、木のおもちゃに触れる体験や木工ワークショップなどを通じて、木材の親しみや木の文化への理解を深めてもらうイベントを開催することにより、来訪者の増加や回遊性の向上につながる。

【事業名】大分市産水産物消費拡大支援事業

【事業実施時期】	令和4年度～
【実施主体】	大分市
【事業内容】	漁協が開催する活魚のつかみ取りや水槽による展示等の親子ふれあいコーナー、水産物の加工品販売等のイベント開催を支援する。
活性化を実現するための位置づけ及び必要性	
【目標】	魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上
【目標指標】	中心市街地の歩行者通行量
【活性化に資する理由】	水揚げされる水産物（関あじ・関さば等）において、新型コロナウイルス感染症拡大による、飲食店等への流通の落ち込み等の影響が継続していることから、水産物の消費拡大を促すイベントの開催を支援することにより、交流機会の拡大に寄与し、来訪者の回遊性の向上につながる。